

令和7年度 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所
名 放課後等デイサービス ちょあ平塚
利用児
童数 60 人
注記

公表日
回収数 18

No.	チェック項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	無回 答	はい率	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	9	0	1	44.4%	活動内容によっては少し狭く感じることがある。	教室の使い分けや物品整理を行い、活動スペースの確保を進め
2	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	5	0	0	72.2%		
3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	8	1	2	38.9%		
4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	14	3	0	1	77.8%		
5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	4	1	1	66.7%	活動内容が増えており、子どもも楽しみにしている。	5領域を踏まえ、反復と段階化を意識しながら活動内容を継続的に見
6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	12	3	1	11.1%	地域の子どものとの交流や体験の機会を増やしてほしい。	地域行事や体験活動への参加機会を検討する。
7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	2	0	1	83.3%		
8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	5	1	1	61.1%		
9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	4	2	1	61.1%		
10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	8	6	0	22.2%	保護者同士の交流の機会が少ない。保護者会などがあるとよい。	保護者会や意見交換の機会を設け、家族支援の充実を図る。
11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、周知・説明し、迅速かつ適切に対応しているか	12	6	0	0	66.7%		
12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	3	0	1	77.8%		

13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や自己評価結果を発信しているか	14	3	0	1	77.8%	HUGで写真を載せてもらえるので、活動の様子が分かり嬉しい。職員紹介も安心につながった。	HUGやホームページを活用し、活動内容や職員・事業所情報の発信を継続する。
14	個人情報に十分注意しているか	13	4	0	1	72.2%		
15	緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	8	2	1	38.9%	緊急時や避難について、より分かりやすく明示してほしい。	BCP・安全計画・避難先等について、保護者への周知を強化する。
16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	9	4	1	22.2%	避難訓練の内容や実施状況が分かると安心できる。	訓練実施後に内容を保護者へ周知するなど、見える化を進める。
17	子どもは通所を楽しみにしているか	16	2	0	0	88.9%	子どもが『ちょあ楽しい』と言って通っている。	本人の『すき』『いいね』を大切に、楽しみながら成長できる支援を図る。
18	事業所の支援に満足しているか	15	3	0	0	83.3%	急な相談にも柔軟に対応してもらっている。最新の技術やDIDIM等も取り入れてくれて嬉しい。	ICT・DIDIM等も活用しながら、児童一人ひとりに合った支援の充実を図る。